

令和6年度 第1回 京田辺市社会教育委員会
会議要旨

- 1 開会
 - 2 委嘱状交付
 - 3 教育長あいさつ
 - 4 委員紹介
 - 5 委員長・副委員長の選出
 - 6 委員長あいさつ
 - 7 議事
 - (1) 各委員の活動紹介

各委員が所属団体の紹介や日頃行っている活動について自己紹介を行った。
 - (2) 令和6年度社会教育委員活動計画（案）

事務局が令和6年度社会教育委員活動計画（案）について説明し、了承された。
 - (3) 社会教育委員会議での協議内容について

事務局が前年までの社会教育委員会議での協議内容について説明し、今年度も引き続き議論していくことについて、了承された。
- 【各委員からの意見】
- ・コーディネーターの発掘、地域と同志社との連携、地域住民同士のつながり強化について、具体的に考えていきたい。生涯学習推進協力員など、地域の核となる人を使ってまとめていきたい。
 - ・コーディネーターは探せば地域に1人、2人はいる。コーディネーターを支える地域や団体、誰が周りで支えるかが大切
 - ・大学生が活動に参加してくれると場が活性化する。学校と地域をつなぐことが、子どもを育て、地域を活性化させることになるのではないか。

4 その他

- (1) 文化施設使用料の減免制度見直しについて
資料に基づき、事務局が説明した。

【各委員からの意見】

- ・市が減免を決定するが、減免すると指定管理者の運営費が減る。減免したらその分市がきちんと指定管理者に補填して欲しい。
- ・減免見直しは、受益者負担の観点から個人的には賛成だが、反対が多いのではないか。それとは別に、優先予約をできるようにして欲しい。
- ・社会教育施設は、住民の文化等を保証するものなので、本来無料であるべき。反対の声も上がる所以、議論や対話は丁寧にして欲しい。文化、芸術等は自由な活動。市の施策の推進に必要かつ支援すべき団体が減免対象になる予定だが、だれが判断するのか。市民が自由にのびのびと活動ができなくなる。市民の自由な活動が、減免の判断で左右されることのないようにして欲しい。
- ・減免の見直しは、生涯学習の本来の理念、あり方から離れるのではないか。無料だからできることがある。生涯学習の推進に逆行するのではないか。

- (2) 生涯学習推進協力員制度について

資料に基づき、事務局が説明した。

【各委員からの意見】

- ・生涯学習推進協力員に何をしてもらい、どんなことを期待するのかを区・自治会に説明して欲しい。

- (3) 審議会等委員について

資料に基づき、事務局が説明した。

- (4) 第3次京田辺市子ども読書活動推進計画の策定について

資料に基づき、第3次京田辺市子ども読書活動推進計画の策定に向けて、アンケートから実施していくと事務局が説明した。

5 閉会 副委員長あいさつ